

改修工事用

塗 装 仕 様 書

仕 様： 国土交通省公共建築改修工事標準仕様書(平成22年度版)

適 用： 木部の下地調整

適用範囲： 表7.2.1

工 程	種 別			塗 料 そ の 他			面 の 処 理	
	RA 種	RB 種	RC 種	規格番号	規格名称	種類		
1	既存塗膜の除去		-	-			スクレーパー、研磨紙等により、全面除去する。	
		-		-			スクレーパー、研磨紙等により、劣化部分を全面除去し、活膜は残す。	
2	汚れ、付着物除去						木部を傷つけないように除去し、油類は、溶剤等でふき取る。	
3	研磨紙ずり			-	研磨紙 P120～220		露出素地面、既存塗膜面を研磨する。	
		-	-		研磨紙 P240～320			
4	節止め		-	-	JASS 18 M-304	木部下塗り用 調合ペイント	合成樹脂	
5	穴埋め		-	-	JIS K 5669	合成樹脂エマ ルションパテ	耐水形	割れ、穴、隙間、くぼみ等に充填する。
6	研磨紙ずり		-	-	研磨紙 P120～220		穴埋め乾燥後、全面を平らに研磨する。	

(注)1.木部に新規に塗装を行う場合は、RA種(不透明塗料塗りの場合)又はRB種(透明塗料塗りの場合)とし、工程1を省略し、工程2と3の間にやに処理を行う。

2.やに処理の面の処理は、やにを、削り取り又は電気ごて焼きのうえ、溶剤等でふき取る。

3.ラワン、しおじ等で、工程2ののちに、やに処理を行う場合は、必要に応じてやに処理後目止め処理を行う。

4.合成樹脂エマルションパテは、外部に用いない。

5.JASS 18 M-304 は、日本建築学会材料規格である。